

## 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長を踏まえた 市長メッセージ

「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が、9月30日まで延長されることになりました。

状況としては、高齢者を中心としたワクチン接種が進んだこともあり、感染拡大の勢いは、かなり衰えつつあります。

これも市民の皆様、お一人おひとりの真摯な感染拡大防止への取組のお陰です。

しかしながら、県全体における医療のひっ迫度合いが改善するには、もう少し時間がかかります。

市内では、家庭内感染が高いレベルで発生しており、子どもたちへの感染につながっています。島田の宝である子どもたちを守るためには、学校・放課後児童クラブや保育施設への感染の広がり、何としても食い止めなければなりません。

さらに、ワクチン接種が2回完了していても、高齢者施設においてクラスターが発生しています。デルタ株の感染力は、それだけ強いということです。

市民の皆様、基本的な感染拡大防止対策の徹底をしてください。家庭内にウイルスを持ち込まないようにすることはもちろん、自分や家族の命を守るために必要な行動を続けましょう。換気することと、家庭内感染をさせないことが、感染拡大防止のカギとなります。

市のさらなる取り組みとして、妊婦さんとその家族にワクチンの優先接種を行うなど、10月末には希望者全員の接種が完了するよう、最大限の努力をしております。感染者の健康観察による重症化の予防、パルスオキシメーターや5日分の食料の配付など、自宅療養者へのケアを積極的に進めます。緊急事態宣言解除後を見据えた、社会経済の回復に向けた取組も検討してまいります。

市立総合医療センターにおいても、病床を増やし、入院の必要な患者さんが入院できるように、きちんと対応しています。

私たちはこれまで、ステイホームなど多くの不自由に耐えながらも、新たな日常を信じて、これまでの約1年半を乗り越えてまいりました。しかしながら、未だ出口の見えない長期戦になっています。

今後は、日々の感染予防対策を続けるとともに、ワクチン接種を積極的に受けていただき、新型コロナと共存する新たな日常を目指して、市民一丸となって、頑張ってみましょう。

よろしくお願い致します。

令和3年9月12日  
島田市長 染谷 絹代